

「までいな家」通信

11月号

◆◆家庭でできる省エネ・エコの知恵◆◆

雨水タンクを設置して雨水を有効利用する

普段の生活の中で、何気なく流れていく雨水。でも、これも実は大切な資源。雨水を貯めるタンクを設置することで、水を節約できるとともに、雨水流出抑制にも効果を発揮します。



▲ウイスキー樽を再利用した雨水タンク

水には節水、利水、治水という3つの水への取り組みがあります。日本はとても水に恵まれた国です。しかし、地球上にある水のうち、約97.5%は塩分を含む海水で、淡水もそのほとんどは北極や南極の水で、実際に使うことができる河川や湖の水は地球上のたった0.01%、地下水を含めても0.8%に過ぎないのです。やはり貴重な資源は大切に利用したいところ。できるだけ節水することにより、家計にもいい効果が出るはず。そんな節水に大きく役立つのが**雨水タンク**の設置です。



雨水タンクは、プラスチック製、金属製、ウイスキー樽を再利用したものなど、いろいろあります。ポリバケツなどを利用して雨水タンクを自作する手もあります。雨どいから分岐（左写真参照）させることでタンクに効率よく雨水を貯めることが可能です。雨水タンクの利用法は、**庭の散水用**に最適で、家庭菜園をされる方なら雨水だけで散水の大部分をまかなうことができます。また、**洗車に、玄関の掃除などに、真夏なら打ち水**に使うのもお勧めです。そもそも、水道水を庭の散水や洗車用水に使うなんてもったいないことです。雨水をうまく活用しましょう。

◆◆◆ (10/23 天の恵みに感謝する・満月ライブ) ◆◆◆

秋まつりの初日、までいな家ではYaeさんと木下尊惇さんのライブを開催しました。ろうそくを灯したエントランスのかぼちゃがお客様をお出迎え、空にはそれは美しいお月様が浮かび、会場にはYaeさんの美しい歌声と木下さんのギターの色音が響き渡りました。また会場で「ラオスに学校を贈ろう」への募金を呼びかけましたが、多くの方から温かいご協力を頂きました。ありがとうございました。



◆◆◆ (10/23 ロハスでまでいな休日・・エコサポーター企画) ◆◆◆

同じ日の午後、までいな家のエコサポーター菅野義樹さんの企画も開催されました。はじめのYoga caféでは、アロマオイルの香りの漂う「作業場」や青空の下お庭で、呼吸を味わいながらのやさしいポーズをとり、心もからだもほぐしてゆったりしました。その後、「子の家」に移動してお茶と手作りパンでほっとしながら、**海外のLohas Life**。菅野さんが3年前にニュージーランドで研修して来た、パーマカルチャーなどエコツーリズム先進国の環境に優しい生活、農的な暮らしを美しい写真とともに紹介。質問を通して話し合ったり、参加者同士のすてきな繋がりも生まれたようです。



みんなのひろば

ここはみなさんが主役のひろばです。身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場総務課 TEL42-1613



防犯への誓い新たに

10/19

飯樋町やさしく見守り隊が防犯功労団体の表彰受賞

10月19日、飯樋町やさしく見守り隊（荒利喜隊長）が相馬市で開催された「第31回全国地域安全運動福島県民大会」の席上、防犯功労団体として表彰を受けました。

これは、日ごろから地域安全活動に尽力していることや、安全安心な街づくりに貢献したこと、積極的に警察活動に協力していることなどが、高く評価されたものです。

この表彰を受け、10月25日に荒隊長が村長室を訪れ受賞を報告しました。



▲受賞を報告した荒隊長（中央）と佐藤義男飯館駐在所長（右）、村長

10/15

交通安全母の会が街頭活動

交通安全母の会が県下一斉街頭活動の一環として街頭活動を行いました。秋の交通事故が多くなる時期に、県内の交通安全母の会が一堂に交通安全街頭活動を行うことで交通安全意識の普及と母の会の活動の浸透を図ることを目的としています。

この日の夕暮時、会員がタスキをかけ「命」「大」「切」「に」「交」「通」「安」「全」「母」の「会」と看板を持ちながら、交通安全のチラシ等を配布して交通安全を呼びかけました。



▲交通安全を呼びかける会員

10/3

交通安全母の会がマスコット作成

10月3日、村公民館で村交通安全母の会が交通安全のマスコットを作成しました。

このマスコットは交通安全母の会の会員が交通安全の願いを込めて手作りしたものです。青、黄、赤の3色で信号機の形をしており、来春入学・入園する児童・園児に配られます。

新入学児童・新入園児がマスコットをランドセル等に着用することで交通安全の意識を高めたこととです。



▲交通安全母の会が作成したマスコット